

農業



令和6年12月号
会誌 No. 1724

目次

巻頭言

消費者に選ばれる農業者に……………香山 勇一 3

論壇

アジアにおけるアグロエコロジーの挑戦……………宮浦 理恵 4

◇農事功績者座談会◇

トンネルシステムとIoTによる有機マッシュルームの大規模生産と
6次産業化による廃棄物ゼロの取り組み……………長澤 光芳 6

◇表彰農家訪問◇

環境保全型病害虫制御と地域資源の循環利用による……………望月 龍也 22
ハウスアスパラガスの高品質・高収益専作経営
—長崎県壱岐市郷ノ浦町に許斐誠仁さんを訪ねて—

食を楽しむ

心の栄養まんてんじゃ！……………高橋久美子 30

◇研究の最前線◇

寒締めによる菜っ葉の品質向上技術……………小沢 聖 31
—一見えてきた新しい普及の問題点—

農業・農村の現場から

集落営農法人を自治会から企業に変える……………和田 梢 41
「グリーン法人中野」の取り組み

世界の農業は今

世界のキノコ生産の動向と課題……………吉井 薫 47

私の経営と志

兵庫県宍粟市で野菜・水稲・農産加工の複合経営……………藤木 茂暁 53
—過疎地域でも農産物の直売を持続させたい—

農家の気持ち

古参品種ブルーベリー・カシスが紡いでくれた縁と未来
……………ハウレット・ハヌル 55

農政情報

…………… 56

編集部から…………… 56

大日本農会だより…………… 57

『農業』年間総目次…………… 58

会誌『農業』に関するアンケート

表紙写真説明：シリーズ日本農業遺産

みかん栽培の礎を築いた有田みかん産地（和歌山県有田地域）

ありだ
有田地域（有田市，湯浅町，広川町，有田川町）は，ミカン栽培を日本で初めて生計の手段に発達させるとともに，400年以上にわたり日本一のミカン産地として発展してきました。また，ミカン生産者による優良品種の探索と農家による苗木生産の組み合わせによる自立性の高い産地形成，多様な地勢・地質の組み合わせに応じた栽培技術の開発および日本初のミカン共同出荷組織「蜜柑方」みかんがたを起源とする多様な出荷組織の共存を核とした持続的農業システムとして，2021年2月に「みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム」の名称で日本農業遺産に認定されました。

平地が少なく急傾斜地の多い有田地域の温州ミカン園では，沿岸部から内陸部にかけて山麓から山頂付近まで石積み階段園を築いています。石積み階段園は日当たりが向上し，排水性が高いため高品質ミカンを生産することが可能です。また，階段園は土砂の流亡を防ぎ，良質な河川環境の維持に貢献しており，中心を流れる有田川は豊かな自然環境を形成しています。このように，有田地域では高品質なミカン生産と自然環境が調和し，産地全体として日本一の「有田みかん」ブランドを確立してきました。

（写真および文 有田みかん地域農業遺産推進協議会 古田貴裕）